

# 1 8 高等学校の課程と学科

## 1 高等学校の課程

高等学校には、**全日制**、**定時制**、**通信制**の三つの課程があります。  
修業年限は、全日制の課程については3年、定時制及び通信制の課程については3年以上です。

### (1) 全日制課程

全日制課程は、日中に授業を行う課程で、年間35週の授業週数と週当たり30単位時間の授業時数を標準とする課程です。

### (2) 定時制課程

定時制課程は、夜間その他特別の時間又は時期において授業を行う課程として本道では41校に設置されています。

一般に、週当たり20単位時間の授業時数で教育課程を編成しています。

また、有朋高等学校と札幌大通高等学校には、午前、午後、夜間の三つの部をもつ、単位制による定時制の課程が設置されています。

### (3) 通信制課程

通信制課程は、有朋高等学校に設置され、自学自習を基本とし、次の方法で学習を進めます。

- 報告課題（レポート）を提出して添削指導を受けること。
- 登校して面接指導を受けること。
- 試験を受けること。

本道は広域であることから、道内32校の協力校（高等学校）を指定し、有朋高等学校以外でも面接指導を受けることができるようにしています。

また、有朋高等学校では、定時制課程または通信制課程に在籍する生徒が、北海道教育委員会の指定する二つの技能教育施設（専修学校）において教育を受けている場合、一定の条件のもとに、当該施設における学習を高等学校における教科の一部の履修とみなし、高等学校の卒業を認めるという技能連携制度を取り入れています。

## 2 高等学校の学科

高等学校には、**普通科**、**専門学科**、**総合学科**の三つの学科があります。

### (1) 普通科

普通科は、国語、数学などの共通教科を中心に学ぶ学科です。

### (2) 専門学科

専門学科には、農業や工業などの職業教育を主とする学科と、その他の専門教育を行う学科があります。

職業を主とする学科では、専門的な知識・技術の定着はもとより、地域や産業界と連携して、産業の振興に主体的に取り組む態度や、職業に関する課題を創造的に解決する能力を身に付け、地域の持続的な発展を担う産業人材の育成を目指しています。

社会の変化や産業の動向、生徒の多様な実態などに適切に対応するため、学科の転換、施設・設備の整備などの充実を図っています。

また、各学校では、中学生・保護者・教員を対象とした体験入学を実施して学科の特色等を紹介したり、地域の関係機関や産業界などとも連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいます。

#### 農業に関する学科

農業生産や食品製造、国土保全や資源活用などについて、地域と連携を図りながら教育を進め、農業や農業関連産業を通じて、地域の発展を担う人材の育成を目指しています。

道内には、農業科学科、園芸科学科、畜産科学科、食品科学科、農業土木工学科、環境造園科、森林科学科、生活科学科など 25 学科があります。

#### 工業に関する学科

技術革新や情報化の進展等の社会の変化に対応する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、工業の各分野に従事できる人材の育成を目指しています。

道内には、電子機械科、電気科、建築科、土木科、情報技術科、工業化学科など、19 学科があります。

### 商業に関する学科

ICT やグローバル化などの産業構造の変化に対応するとともに、マーケティングやマネジメント、会計、ビジネス情報などの業種や職種に従事できる人材の育成を目指しています。

商業に関する学科として、商業科、総合ビジネス科、流通経済科、国際経済科、会計科、情報処理科など、19 学科があります。

### 水産に関する学科

つくり育てる漁業やバイオテクノロジーなど資源管理型漁業に対応するとともに、水産業の後継者や、「海・船・魚」にかかわる広い分野で活躍する人材の育成を目指しています。

水産に関する学科として、海洋漁業科、海洋技術科、水産食品科、品質管理流通科、栽培漁業科、機関工学科、情報通信科、海洋資源科の 8 学科があります。

### 家庭に関する学科

衣食住、保育、介護等に関する知識や技術を身に付け、生活文化を創造するとともに、生活産業の各分野に従事できる人材の育成を目指しています。

家庭に関する学科として、家政科、生活文化科、生活デザイン科、食物調理科の、4 学科があります。

### 看護に関する学科

高等学校と専攻科における 5 年間の一貫したカリキュラムにより、看護に関する知識・技術を習得させ、保健医療機関などにおいて看護の業務に従事できる看護師の育成を目指しています。

看護に関する学科として、衛生看護科があります。

### 福祉に関する学科

社会福祉に関する知識と技術を習得させ、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を身に付けた介護福祉士の育成を目指しています。

福祉に関する学科として、福祉科があります。

### その他の専門学科

その他の専門学科としては、理数科、体育科、国際文化科、国際教養科、工芸科、数理データサイエンス科の 6 科があります。

## 専攻科

農業、水産、看護については、高等学校卒業者を対象とする2年制の専攻科を設け、上級の職業資格取得を目指すなど、専門的な知識と技術を習得させ、それぞれの専門分野で活躍する人材の育成を行っています。

学校教育法等が改正され、一定の要件を満たす高校の専攻科を卒業した者は、大学への編入が認められるようになりました。道内の農業に関する専攻科には園芸科学科、酪農経営科、水産に関する専攻科には漁業科、情報通信科、機関科、看護に関する専攻科には看護科があります。

### (3) 総合学科

総合学科は、普通教育及び専門教育の選択履修を旨として総合的に施す学科です。

体系性や専門性等において相互に関連する共通科目及び専門科目が、系列として開設されており、生徒自らが興味・関心や進路希望等に応じて、主体的に科目を選択し履修することができます。令和5年度における道内の公立高等学校の総合学科設置校は18校です。

#### 〈総合学科が重視する教育内容〉

- 将来の生き方や進路を考える学習や指導の重視
- 自ら課題を見つけ、自ら解決を図る態度の育成
- 学ぶことの楽しさや成就感を体験させる学習の重視

#### ☆「産業社会と人間」

総合学科では、「産業社会と人間」、を原則として入学年次に履修することとしており、標準単位数は2～4単位です。

「産業社会と人間」は、産業社会における自己の在り方生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒の進路に応じて主体的な各教科・科目の選択に役立てるための科目です。

また、就業体験活動等の体験的な学習や調査・研究などを通して、①社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成、②我が国の産業の発展と社会の変化についての考察、③自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科、科目の履修計画の作成等について指導する科目です。